

Samoan Life Memories vol.1

2025.5.27

Malo!(サモア語でこんにちは)

JICA 海外協力隊 2024 年度 3 次隊、太平洋の島国・サモアに PC インストラクターとして派遣中の 関根明希乃です。(左下写真は、サモアの伝統衣装を着てサモアの日本大使館表敬訪問時)



【略歴】

- 神奈川県立相模原高等学校、法政大学法学部国際政治学科を卒業
在学中、オックスフォード大学に短期留学
- 大学卒業後、1 年 8 か月間 IT 企業で SEとして勤務
- 海外添乗員として世界中旅した祖父に憧れ、スイス・東欧 3 か国を 2 週間、東南アジア 7 か国を 1 か月間で、一眼カメラ片手に バックパッカー女一人旅
- 2025.1.7~3.20 JICA 駒ヶ根訓練所にて 派遣前訓練合宿に参加。
朝から晩まで英語漬け、寮のような訓練所で 132 人での団体生活を経験。
- 2025.4.23~ JICA 海外協力隊としてサモアへ(2 年間活動予定)

◆協力隊参加の経緯◆

青年海外協力隊に参加することは、子供の頃からの私の夢でした。

小学 4 年生の頃に、フィリピンのゴミ山で働く少女のドキュメンタリー番組を見たことがきっかけです。その少女は、当時の私と同じ 10 歳でした。自分と比較し、『どうして生まれた環境が違うだけでこんなに差が出てしまうんだろう』とショックを受けました。

『恵まれた日本に生まれた私は、貧しい国の困っている子供達を助ける義務がある』。子供ながら遊ぶことも我慢し、周りから『ガリ勉くそ真面目』と馬鹿にされても、夢を叶える為必死に勉強してきました。大学時代、国際協力に関連する企業や NGO の面接を沢山受けましたが、

①専門性があること ②実務経験が2年以上あることが国際協力業界では必要であり、私の専攻

していた国際政治は『専門性』として見做されない為、一般企業で働いて実務経験を積んでからの方が良いと言われました。ずっと国際協力がしたかった私は、自分が何をすればいいか分からなくて呆然としました。専門性として、時代的にITスキルが必要かと思い、IT企業に入社。1年8か月間実務経験を積んだのち、JICA 青年海外協力隊にPCインストラクター職種として参加しました。

◆配属先のST.MARY 中高等学校◆

St.Mary 中高等学校は、サモアでトップクラスの進学校の女子校です。特に女性の教育に興味があり、この要請を希望しました。

自分が女性だからこそ、メディアで女性が辛い目に遭っているニュースに触れるととても辛くなります。



生徒達



青い平屋の校舎 緑が素敵

サモアは、男尊女卑が強い傾向にあると聞きました。次世代において、ITスキルを身に付けることで、より経済的に自立しやすくなります。経済的な自立は、精神的な自立・自分自身への自信に繋がります。

経済的にも精神的にも自立した強い女性を育てることが私の目標です。

◆サモアで過ごした26歳の誕生日◆

サモア到着後の20日間はホテルで生活しサモア語の授業を受け、その後配属先から徒歩2分のアパートに引っ越し、活動スタート。初出勤日は私の誕生日、5月16日でした！大きなファレのようなホールでの全校朝会。私が登場すると、『レイ』という、プレメリアなどの生花で出来た首飾りを掛けられました。サモアでは、ゲストを温かく迎え入れる為に使われます。この日の為に一生懸命覚えた拙いサモア語で自己紹介しました。今日が誕生日だと告げると、全校生徒450人がサモア語でHappy Birthdayを歌ってくれました!!皆歌が上手で、泣きそうになりました。



全校朝会での様子 右が校長先生

その後も職員室で、大きなケーキとご馳走を用意してくれていて、皆誕生日をお祝いしてくれました。この日のことは一生忘れません。



"SEKINI"になってるけど嬉しい



職員室にて先生方と

帰宅してから、大家さんに『今日が誕生日だ』と言うと、『ディナーに行こう!』と言われました。St.Maryに通っている、大家さんの15歳の娘さんも一緒に車に乗りました。すごい素敵なレストランだ!と思っていましたが、ずっと続く誰かのスピーチ…何時間も経って気付いたのは、私のお祝いをする為にレストランに連れてきてくれた訳ではなく、大家さんの従兄弟の65歳の誕生日パーティーだったのです!!皆と一緒にシバというサモアの伝統ダンスを踊りました。お寿司が食べれて嬉しかったです!!

◆今私が 任されていること◆

- ① 使われていない古いパソコン40台ほどの点検・修理
- ② 7/2のInternational dayに向けて、生徒に日本の国歌・ダンス・料理を教える
- ③ 2ターム目(7/21~)よりPCのクラスを担当

- ① については、パソコンを分解したら、中には酷い埃と蜘蛛の巣だけでなく、虫の死骸、卵、孵化しかけた虫の死骸などが沢山ありました。作業している旧PC室にはネズミがいて怖いです。PCインストラクター隊員というか、清掃隊員…泣落書きも沢山あってパソコン達が可哀想になります。まずは、物を大事に使おうねと生徒に伝えたい。
- ② については、St.Maryにはフィジー人の先生が2人、トンガ人の先生が2人、ガーナ人の先生が1人、そして日本人の私が1人いて、全校生徒が4グループに分かれ各国の文化を学び、7/2のInternational dayで発表します。6月前半までは週に1時間、6月後半は毎日1時間練習の時間があります。

その他、私が普段いる旧PC室に遊びに来てくれた生徒達に、日本語を教える授業などをしています。これから上手いかないこともあるだろうけど、折角いただいた機会を大事にし、2年間後悔しないよう頑張りたいと思います!! **Manuia le aso!(良い1日を)**

2025.5.27

JICA海外協力隊 2024年度3次隊

サモア・PCインストラクター隊員

関根明希乃